

刊 夕 行發日三十月七 本報社 昭和三十三年七月十四日創刊

餘技餘談 (一) 島田忠夫

河童 牛久沼の小川幸錢書宗 好んで河童の繪をものし給ふ。また幸錢書宗は深くこの河童を信じ給ふ。

連句 (一) (二)

蒼穹を忘れた女 一葉みどり われ一人捨てられた様な感じする、暗闇にたちて

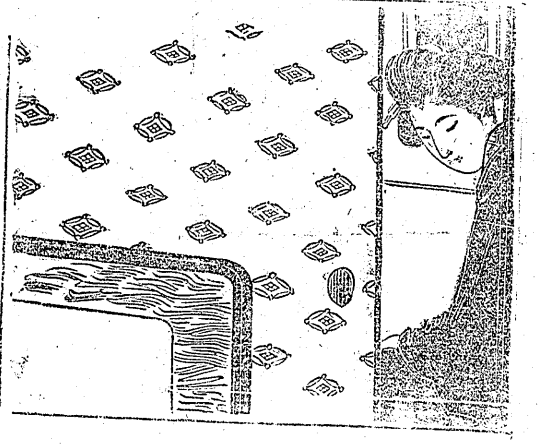
春光 (童謡詩)

古村徹三 松の粉のはな ほう、ほうと 燃る芝生の ゆきかへり

また「蜻蛉日記」に「はらからの陸奥守にて下るを、ひいて長雨しける頃、其下る日暗たるみれば、彼の國にかはくと云ふ神ありとて歌に」

元禄名妓傳

小色井小巴演 (宮野恒彦書) 一三席 扱て彌左衛門はお房善兵衛を盗み出して乗る趣味(或は悪癖)あり。



に附添ひ、本街道から西に當つたならば、お心持が切道の家内をながら馬蹄々なるだらうからと、

飲ますれば正氣となり本復す。 『甲子夜話』に 對馬に川太郎あり、浪よりの石堤に集り群をなす

和洋食堂 開設披露 今般和洋食堂開設ノ爲今夏中奉仕の大地強致ス

安齊外科醫院 入院隨意 自炊の便あり 平町田町赤心堂病院隣(電話四三六番)

生花教授 家元龍生派池坊 生花、盛花、投入自然 営業では御座りませんから趣味で御相手致し度うございませう

小名濱商事株式会社 地貨 平出張所 電話六〇三番

木村病院 産科、婦人科 院長 木村寅次郎 平新川町十九 電話一六四番

セダン揃ひて! 昭和三十六年 三四三番

夏衣大賣出し 七月十日ヨリ五日間 木綿、呉服類を豊富山積し 最廉價を以て...

三井呉服店 三井のおつこめ品 白綿浴衣地 六八〇 模様銘仙 二、八〇〇

安齊外科醫院 入院隨意 自炊の便あり 平町田町赤心堂病院隣(電話四三六番)

生花教授 家元龍生派池坊 生花、盛花、投入自然 営業では御座りませんから趣味で御相手致し度うございませう

子供服特賣 ウルトラナ、I型 シーク、小供服 トラルコ製、一五銭 『日傘パラソル、ワイシャツ、クレツプシャツ』 取揃ヘンタ

秋山時計店 叩いて踏んで 破れぬ強い時計の硝子 形形 金十七銭

修港と利益誘導
由來黨勢の擴張には所謂利益誘導なるものが殆ど附随して行つてゐる...

價格の低落に反して 鐵道運賃は騰る

現狀では到底遣り切れぬと
常磐鐵道會から値下陳情
貴省御購買の石炭に對して相當高率なる引下げを行はれ候折柄何事事情御察察の上石炭運送鐵道運賃の引下げ方御高配相願度茲に陳情仕候也

晴れ上らぬ限り
農作物に大被害
當局が大わらわて
善處策の指導に腐心

四倉の油断から
補助金問題
補助金は四倉町民の斷からん限り...

件の身代金
拂はぬ桂枝を告訴
湯田町天王崎人形屋業渡邊一郎は此程...

親殺しに二年
新山町の牛谷寛
控訴院檢察事が求刑
吾々は身命を賭して四倉港の完成を期す

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾々は身命を賭して
四倉築港の完成を期す
激越興奮の裡に終始した
町民大會の悲壯な宣言決議

吾々は身命を賭して
四倉築港の完成を期す
激越興奮の裡に終始した
町民大會の悲壯な宣言決議

吾々は身命を賭して
四倉築港の完成を期す
激越興奮の裡に終始した
町民大會の悲壯な宣言決議

吾々は身命を賭して
四倉築港の完成を期す
激越興奮の裡に終始した
町民大會の悲壯な宣言決議

吾々は身命を賭して
四倉築港の完成を期す
激越興奮の裡に終始した
町民大會の悲壯な宣言決議

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

吾人は町の福祉を窮極の點から隅田川沿線の順當な目的として其間手段を擇ぶ運賃が大正二年當時一圓七...

宗家天勝 大一座 大衆樂の體一 七月十五日(日) 午後六時開演 聚樂館

新鯉節ノ御披露 御家庭に御中元御贈答品には是非 極上無油本節 四割五分(百目) 同 節餅四 割(百目) 同 二箱五本入(壹箱) 壹圓五十錢 同 七本入(壹箱) 貳圓也

親殺しに二年 新山町の牛谷寛 控訴院檢察事が求刑 吾々は身命を賭して四倉港の完成を期す

吾々は身命を賭して 四倉築港の完成を期す 激越興奮の裡に終始した 町民大會の悲壯な宣言決議

頭痛鉢巻の平局 簡保の解約續出に 勧誘に全力を傾注

輕妙な即興詩 コラシヨウタア 雨の日の朗らかな合唱

景風新町平 輕妙な即興詩 コラシヨウタア 雨の日の朗らかな合唱